

2025年8月6日
JFE シビル株式会社

「JFE シビルの連続小梁工法」の構造性能評価取得

JFE シビル株式会社(以下、JFE シビル)は、コンクリート床スラブ付き鉄骨小梁を効率的に連続梁^{*}とする「JFE シビルの連続小梁工法」(以下、本工法)を開発し、日本 ERI 株式会社(以下、日本 ERI)の構造性能評価を取得しました(ERI-K24003、令和7年3月18日付)。

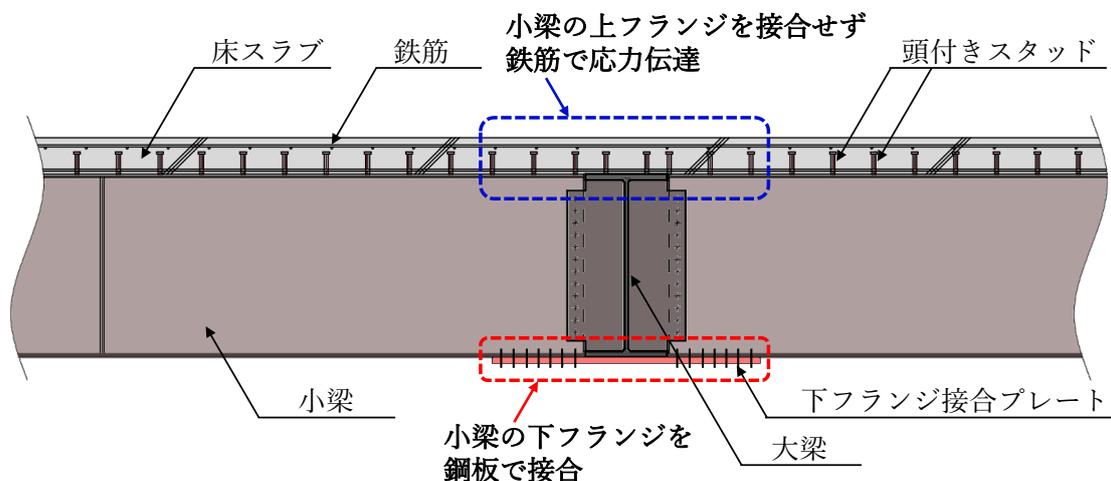
本工法は、コンクリート床スラブ付き鉄骨小梁を連続梁(以下、連続小梁)とするものです。この連続小梁と直交梁の接合部では、上フランジの接合を省略し、下フランジとウェブのみを接合しています。また、床スラブ内には直交梁を跨ぐように補強鉄筋が配置されています。これにより、従来の連続小梁工法と比べて小梁端部の曲げモーメントを緩和することができ、小梁の断面を小さくすることが可能です。また、上フランジを接合しないことで現場での省力化を実現しました。

本工法の構造性能および設計方法については、日本 ERI において、その妥当性が評価されました。

本工法の採用により鉄骨造の効率的な設計が可能となり、躯体のさらなる合理化を実現します。JFE シビルは今後もお客様のニーズに応えるべく、技術開発に努めてまいります。

^{*}:連続梁とは、2 つ以上の支点で支えられた梁のことで、2 つの支点で支えられる単純梁よりも剛性が高いため、中央部のモーメントとたわみが小さくなり、梁の断面を小さくできる場合があります。

【JFE シビルの連続小梁工法 接合部の模式図】



以上

【本件に関するお問い合わせ】

JFE シビル (株) 技術開発研究センター 開発部 TEL:03-3864-3793